



静岡県教育委員会  
教育広報紙

# Eジャーナルしずおか

平成25年(2013年)  
10月7日  
月曜日  
第121号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3188 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

自立し、互に関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

## 「インクルーシブ教育システム」の構築と特別支援教育の重要性

私たちの国が目指している社会は、すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会です。

平成23年8月改正の「障害者基本法」では、障害者には社会を構成する一員として、社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に参加する機会が確保されることとなっています。

その実現のためには、「インクルーシブ教育システム」の理念が重要です。

### 「インクルーシブ教育システム」とは

平成18年、国連で採択された「障害者の権利に関する条約」に、「インクルーシブ教育システム(仮訳:包容する教育制度)」の記述があります。障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであり、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮(※)」が提供されること等が必要とされています。

※「合理的配慮」とは、障害のある子どもの教育に必要な変更や調整を行うこと。基礎的な教育環境の上に、個別的に必要な配慮であり、教育だけでなく、社会全体において必要。

### 全ての子によりよい教育を

平成24年7月、文部科学省が設置する中央教育審議会から出された「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」という報告の中では、次の必要性が述べられています。

- ・就学相談・就学先決定の在り方について
- ・合理的配慮とその基礎となる環境整備
- ・多様な学びの場の整備と学校間連携等の推進
- ・教職員の専門性の向上等

特別支援教育は、子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行う教育です。これを推進していくことは、全ての子どもにとって、良い効果をもたらすことができるので、「インクルーシブ教育システム」の構築については共生社会の形成には、特別支援教育を着実に進めていくことが必要なのです。

【学校教育課特別支援教育室】

ナードム(モンゴルの祭典)や学校での歓迎式典などでは伝統的な踊りや楽器の演奏を披露してくれました。華やかな民族衣装も相まって、民族の誇りを強く印象付けられました。

### 初めて意識する「国」

ナードム(モンゴルの祭典)や学校での歓迎式典などでは伝統的な踊りや楽器の演奏を披露してくれました。華やかな民族衣装も相まって、民族の誇りを強く印象付けられました。

11月3日の文化の日を挟んだ2週間は、読書週間です。例年、この期間に合わせて、各学校や公立図書館では、様々な企画を実施しています。昨年度は、おはなし会や講演会はもちろん、本のリサイクル市や、テーマに沿った本の展示、ブックカバー作りなど、各図書館で工夫された催しが行われ、多くの方が参

加されました。今年度も、各図書館で実施される予定です。家族みんなで、お近くの図書館に足を運んでみてくださいますように。

学校でも読書活動を重視しています。県の調査によると、現在、ほとんどの公立学校(小・中・高・特別支援)において、

全校で取り組む読書活動が実施されています。朝読書や読み聞かせなどを毎日積み重ねることによって、児童生徒には読書に親しむ習慣が確実に身に付いています。読書の秋、先生方も、教室や職員室で、子どもたちと読書の時間を共有してみてください。



読書週間に合わせたお薦め本の展示

読書週間にきつかけに、子どもの豊かな心を育み、読書のすばらしさを次世代に伝える、親子読書に取り組んでみてはいかがでしょうか。

読書週間に迷った時や、家族や児童生徒に本を紹介したい時、びったりな一冊に出会えるかもしれませんね。(本とともだち)「読書しずおかブックサイト」からダウンロードできます

【社会教育課】

8月12日から17日にかけて本県から初めての高校生交流団30人がモンゴル国を訪問しました。本県と友好関係にあるド

### 大自然を感じて

ルノゴビ県の県都サイインランドとモンゴル国の首都ウランバートルが主な目的地です。異国の地で不安な高校生たちを待ち受けていた最初の試練は、なんと乗車を予定していた列車の運休でした。2日目の主な行程であるウランバートルからインシヤンドへの10時間の大移動がまさかの危機に。急ぎまよマイクロバスで大草原を疾走することになりました。



ナードムで華麗な白鳥をイメージした舞を披露するモンゴル国少女

しかし、けん騒にあふれるウランバートルから離れたところに大草原が広がり、それがドルノゴビの交流でした。まず驚いたのは、ドルノゴビの高

### 高校生同士の交流

今回の訪問の一番の目的はモンゴルの高校生との交流でした。まず驚いたのは、ドルノゴビの高



現地高校生との交流(サイインランド第5学校にて)

に近づくと砂漠に変わって、大地というものを肌で感じる事ができました。地平線に沈む夕陽は雄大で荘厳でした。さらに、砂漠の真ん中のゲルキャンプ(モンゴル式テントの宿泊施設)では、最高の贈り物がありました。満天の星空と流星群です。星が降るとはまさにこのこと、天の川もはつきり分かります。地球もまた宇宙の一部であると実感できました。ゲルキャンプではたくさ

んの虫に悩まされました。それがまた自然の一部と感じました。



静岡県交流団を迎えてくださったドルノゴビ県の方々と共に(ゲルキャンプにて)

が和装になつて日本の歌や剣道を披露し、モンゴルの人々に強く日本の文化を印象付けられたように思います。「国」とは、「民族」とはどういうものか、日本にいたら考えもしなかつたことを考える機会になりました。

静岡県読書ガイドブック「本とともだち」には、対象年齢に合わせたブックリストが掲載されています。あかちゃん版には8冊、小学生版には60冊、中学生版には96冊の本が紹介されています。小学生版は「おはなしの本」しき・あそびの本、中学生版は「夢の中になる本」絆を感じる本、などテーマに分けて紹介されています。

実践NOTE 241

## 言語活動を生かした授業づくり

### 論理的な思考力・表現力を育てる

浜松市立引佐南部中学校 教諭 西村善希



筆者

学年が上がるにつれて、算数・数学に対して、苦手が増えてきます。また、授業の中で自分の考えを述べられませんが、発言が単語ばかりで、論理的に考え、議論し合ったり、他の友達とは違う新しい考え方に挑戦したりすることが苦手です。このような実態から言語活動を意識した授業を実践し、論理的思考力や表現力を育んでいきたいと考えました。

新学習指導要領では、言語活動を重視することがうたわれており、教科において「論理的に事象を説明することである」と記載されています。論理的に事象を説明できるとは、「矛盾・飛躍・重複がなく筋道が分かりやすくつなげて説明ができる」ということです。ここでトランプの黒のカ



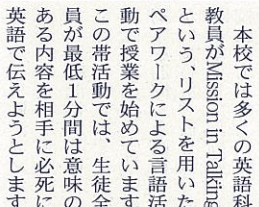
トランプを使って楽しく学習

論理的に説明する力を身に付けるためには、自分自身が身に付けた知識・技能を基に、それらを活用しながら思考・判断し考えをまとめていくことが大切です。そして、さらにそれを聞き手に分かりやすく発信していく表現力が必要で、つまり、言語活動を生かした授業づくりをするためには、物事を説明する場面を多く設定し論理的な思考力・表現力を育むことが必要となります。

そこで、それらの力を育むために「導入の工夫」「説明の場の設定」の2点に重点を置いて実践に取り組みました。

●書くこと  
1時間の授業で分かったことや学習内容でもいろいろと感じたことをできるだけ用語を使って他者に分かるように短い文でまとめさせようとした。

●話すこと  
生徒が発言をする場面では、ただ解を述べるのではなく、どのような過程のもとで答えが導かれたのか他者にも分かるように、自分が計算した過程も含めて述べることを意識付けてきた。



グループでの活発な話し合い

●導入の工夫  
事前に生徒にアンケートを行い、生徒を母集団全体や、母集団の中の標本に見立てて授業を行いました。生徒にとって身近なアンケート内容になり、生徒自身が資料となったデータを用いたりすることで、新しい単元に興味・関心を持ち、意欲的に活動に取り組むことができました。

●説明の場の設定  
論理的に事象を説明するには、用語の意味を理解することが重要です。そこで、用語を選び、筋道を立てて説明させるために、表現を「書くこと」と「話すこと」の二つに分けました。



筆者

●実践を終えて  
このような取組は既に実践されている方々も多いのではないかと思います。今回の取組で話し合い活動をより活発にさせたいという新たな課題も見付けることができました。今後とも言語活動を重点においた授業を行い、生徒一人一人の思考力や表現力を高めていきたいと思います。

実践NOTE 242

## 高校英語、変化しています

静岡県立沼津西高等学校 教諭 中島由美

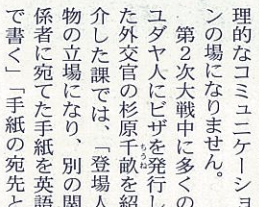


筆者

本年度沼津西高校は「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」の研究拠点校として、文部科学省の指定を受けました。英語科スタッフが一丸となって改善に取り組む、会議も多くなりました。しかしなんと、言っても指導の基本は授業です。本当の変化は会議室ではなく、教室で起きているのです。

ここでは、日々の授業での指導改善の様子を紹介します。

●帯活動で活性化  
本校では多くの英語科教員がMission in Talkingという、リストを用いたペアワークによる言語活動で授業を始めます。この帯活動では、生徒全員が最低1分間は意味のある内容を相手に必死に英語で伝えようとします。



Mission in Talking: パートナーと即時的に会話する帯活動

前回は相手が出した「うまい表現」を使ってやろうとか、この前うまく言えなかったところに再度挑戦してみようなど、スタートの音が掛かる前にコミュニケーションに向けての準備が生徒の中で始まります。リストをコンプリートしたいという欲求はゲームに近い感覚があるのかもしれません。

1学期末に行った授業アンケートでは、生徒からは、「必死に考えて英語を話すのは大変だったが、別の人もつとめてみたい」と意欲あふれる声を聞くことができました。



テンポよく復習: 答えられたら座るので挙手も気合が入る

●自分↓共感↓論理的思考  
「論理的思考力の育成」が本校の研究テーマですが、私はまずは生徒一人一人が自分の考えをどこに置くかを意識することが大切だと考えます。生徒全員が「そうだね」と教科書の主張に従順になっことは、授業が論理的なコミュニケーションの場になりません。

第2次大戦中に多くのユダヤ人にビザを発行した外交官の杉原千畝を紹介した課では、「登場人物の立場になり、別の関係者に宛てた手紙を英語で書く」「手紙の宛先と



家族と一緒に過ごす。これが一番

「授業では話し合いの活動も多く、自分では気付くことができなかったことに気付くことができました」と気付けました。生徒の言葉です。教わるのではなく、生徒が自ら気付くことを通じて学び成長する現場に今日も立っている喜びを感じています。

●生徒の成長を感じながら  
「授業では話し合いの活動も多く、自分では気付くことができなかったことに気付くことができました」と気付けました。生徒の言葉です。教わるのではなく、生徒が自ら気付くことを通じて学び成長する現場に今日も立っている喜びを感じています。

11月は「家庭教育を考える強調月間」です!  
皆さん、家族と一緒に過ごす時間を大切にしていますか?  
ライフスタイルが多様化している現代は、家族全員がそろってなかなか難しくなっています。だからこそ、家族と一緒に時間を過ごすことが大切です。でも、特別なことをする必要はありません。食事や買い物、散歩など、普段の生活の中でできるだけでも、家族をそろてるだけでいいです。「家庭教育を考える強調月間」を機に、これまでの子どもとの関わり方を振り返り、これから自分の家庭での教育について考えてみてはいかがでしょうか。

月に一度は「家庭の日」を! 果ては、月に一度は家族で「家庭の日」を設けることを呼び掛けています。「家庭の日」とは、家族が一緒に過ごし、絆を深めるための日のことです。強調月間に限らず、それぞれの御家庭に合った「家庭の日」を自由に考えてください。

【社会教育課】  
全国で年間約2万8千人もの尊い命が自殺で失われています。身近な人たちに気をつけ、声掛けをすることで自殺を防ぐことができる場合もあります。また、悩みや不安、困り事など、一人で抱え込まず、まずは相談しましょう。【この先の健康相談統一ダイヤル0570(064)556】  
【福利率】

# ”笑顔の輪“で育む 少年の立ち直り支援

## 静岡県警察「スマイルサークルプロジェクト」活動展開中

プロジェクトとして全警察署に拡大しました。少年警察署に拡大しました。プロジェクトでは、少年警察署とともに、大学生ボランティアの参加を求め、現在42人の大学生を「サポーター」として登録し、少年の立ち直り支援に協力していただいています。

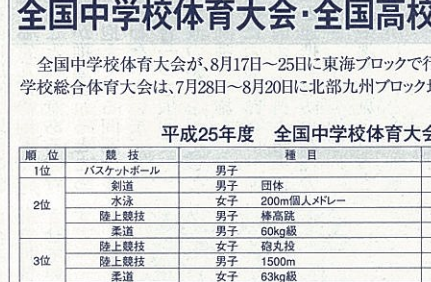


農業体験(たい肥をまく少年)

昨年、非行少年や犯罪被害少年を対象に、県内10警察署の少年サポートを「スマイルサークル」

このため、今年夏、中学3年に進級して間もなく、遊び仲間と学校をさぼるようになっていたAさんが農業体験に参加しました。少年サポートセンターが繰り返して参加を働き掛けた。そのため、今年夏、中学3年に進級して間もなく、遊び仲間と学校をさぼるようになっていたAさんが農業体験に参加しました。少年サポートセンターが繰り返して参加を働き掛けた。

作品制作(貝殻を利用したアート)



作品制作(貝殻を利用したアート)

# 三陸復興に向けた遺跡調査

## 岩手県派遣職員文化財保護課 武田寛生

屋の基礎だけが、かつてここで人々の生活が営まれていたことを示す。岩手県の被災地を訪れて最初に目にした光景は、想像していた以上に凄惨なものでした。



田畑畑村での発掘調査

私は、復興支援のためこの4月から岩手県に派遣され、東日本大震災の復興事業に伴う埋蔵文化財調査に従事しています。復興事業が計画されている高台には、多くの遺跡が存在しており、開発に

先だって発掘調査を実施しています。埋蔵文化財専門職員の派遣は、昨年2年目を迎えています。今年度は、全国から8人の職員が岩手県に派遣されており、岩手県教育委員会の職員の方々と協力し、復興のために尽力しています。

# 被災地の光景

鉛色の空に、打ち寄せる荒波と肌を刺す寒風。そして、目の前に広がる荒涼とした大地。人の気が配はなく、僅かに残る家

この4月から岩手県に派遣され、東日本大震災の復興事業に伴う埋蔵文化財調査に従事しています。復興事業が計画されている高台には、多くの遺跡が存在しており、開発に

# 全国中学校体育大会・全国高校総体結果発表

全国中学校体育大会が、8月17日～25日に東海ブロックで行われました。また、全国高等学校総合体育大会は、7月28日～8月20日に北部九州ブロック地区で行われました。

平成25年度 全国中学校体育大会結果				
順位	競技	種目	学校名	氏名
1位	バスケットボール	男子	浜松学院	
		女子	浜松中野	
2位	水泳	男子	200m個人メドレー	望月 紳子
		男子	400m	窪田 大輝
		男子	60kg級	窪田 龍司
		男子	80kg級	増田 泰樹
3位	柔道	男子	1500m	浜松聖馬
		男子	63kg級	東海大鷗洋
		女子	63kg級	安竹 真利奈
		女子	63kg級	安竹 真利奈

平成25年度 全国高等学校総合体育大会結果					
順位	競技	種目	学校名	氏名	
1位	陸上競技	男子	400m	浜名	加藤 修也
		男子	4x400mリレー	浜名	
		男子	ハンマー投	浜松城北工	森 大輝
		男子	フィールドの部	浜松城北工	
		男子	4x400mリレー	浜松市立	
		男子	トラックの部	浜松市立	
		男子	学校対抗(学校別総合得点)	浜松市立	
		男子	高飛込	浜松修学舎	大塚 千誠
		男子	組手	御殿場西	
		男子	9x400mリレー	浜松市立	中井 快晴
2位	陸上競技	男子	400m	池村 亮	
		男子	走幅跳	中村 亮一	
		男子	砲丸投	浜松城北工	赤岡 祐一
		男子	400m	浜松市立	杉浦 はる香
		男子	5000m競歩	伊豆中央	清田 綾子
		男子	4x100mリレー	浜松市立	松島 美羽留
		男子	走幅跳	浜松市立	
		男子	水泳(飛込)	浜松修学舎	
		男子	バスケットボール	藤枝明誠	
		男子	種目別 段違平行種	富士市立	井上 和佳奈
3位	陸上競技	男子	個人総合	サレジオ	池ヶ谷 晴香
		男子	個人総合	サレジオ	池ヶ谷 晴香
		男子	個人総合	サレジオ	池ヶ谷 晴香
		男子	個人総合	サレジオ	池ヶ谷 晴香
		男子	個人総合	サレジオ	池ヶ谷 晴香
		男子	個人総合	サレジオ	池ヶ谷 晴香
		男子	個人総合	サレジオ	池ヶ谷 晴香
		男子	個人総合	サレジオ	池ヶ谷 晴香
		男子	個人総合	サレジオ	池ヶ谷 晴香
		男子	個人総合	サレジオ	池ヶ谷 晴香

# 文化・芸術の秋

## 「文化の丘フェスタ」で！

10月26日から

「ふじのくに文化の丘フェスタ」とは？

静岡県の文化関連機関の連携・協働による自主プロジェクト「ムセイオ静岡」。そのメンバーである県立大学、県立美術館、県立中央図書館、県埋蔵文化財センター、県舞台芸術センター(SPAC)、グランシップが集中的にイベントや催事を行う秋の一大行事です。ここでは、この

# 図書館の裏側を見る！?

普段は見る」ことのできる

「ふじのくに文化の丘フェスタ」では、県立中央図書館が開催する行事を紹介いたします。

**講演会**  
「子どもの科学の本が拓く世界」  
[日時]11月9日(土) 13時30分～15時30分  
講師 池上 理恵 氏 静岡自然を学ぶ会代表

**おたのしみづくり**  
職員がテーマごとに選んだ当館所蔵のお薦め本とメッセージカードが入った袋(B.O.K袋)を

**おたのしみづくり**  
職員がテーマごとに選んだ当館所蔵のお薦め本とメッセージカードが入った袋(B.O.K袋)を

# 今、求められる消費者教育

## 動き出した消費者教育

今、消費者としての自立を支援するために行われる消費者教育の推進が求められています。

その背景には、グローバル化や高度情報化の進展等により、多様化・複雑化した消費者をめぐる状況があります。例えばインターネットの普及により、消費者の利便性は向上したものの、被害やトラブルに巻き込まれる危険性も一段と増えています。昨年年度、国民生活センター等に寄せられた消費生活相談件数は、約84万件にもなります。

## 消費者教育が目指すもの

消費者教育は、被害に遭うことなく合理的な意思決定ができる自立した消費者を育てること、各自が社会の一員として、よりよい市場と社会の持続可能な発展のために積極的に参画するということ、消費者市民社会の確立を目指しています。

法律では、幼児期から高齢期までの生涯を通じて、学校、地域、家庭、職場などにおける消費者教育を推進することが明記されています。

## 学校における消費者教育

学校では、発達段階に応じた教育機会の確保と研修の充実、人材の活用が義務付けられています。中心となる教科は、社会科、公民科、家庭科、技術・家庭科(家庭分野)です。しかし、各教科で消費者教育が独立しているのではなく、それぞれの消費者教育に関する内容を、有機的に結び付けていくことが大切です。

例えば、小3社会科でスーパリーの安売りの仕組みを調査する活動を通して、販売者が顧客の願いに応えながら利益を上げる工夫をしていることを学びます。そして、ここで学習した経済の仕組みを生かし、小6家庭科で商品の適切な選択・購入の方法を学んでいく等が考えられます。

こうした中、平成24年に「消費者教育の推進に関する法律」(以下法律)が施行され、平成25年に「消費者教育推進に関する基本的な方針」が学校へ通知されました。

## 家族や仲間とゆったりすごそう 観音山ファミリーDAY参加者募集

季節感あふれ温かみのあるクラフト作り、満点の星空を見上げての星座観察。この冬は、観音山のスペシャルプログラムを是非体験ください。

- 第1回 12月21日(土)～22日(日) (1泊2日)  
クリスマスリース、門松作り、キャンドルセレモニー
- 第2回 平成26年1月25日(土)～26日(日) (1泊2日)  
昔の遊び、星座観察、五平餅作り

■参加費 中学生以上2,800円程度、小学生2,600円程度、幼児1,600円程度(各回共通)

■定員 各回10グループ(1グループ20人まで)

■申込み 官製はがきに、代表者氏名、住所、郵便番号、電話番号(連絡先)、参加予定人数、希望回を必ず明記の上、郵送にて。(当日消印有効)応募は1グループ1口まで。応募者多数の場合は抽選。

■申込期間 10月28日(月)～11月11日(月)

■問 観音山少年自然の家 053(545)0111

※各回の内容に加え、好きなプログラムを自由に選択して活動できます。(山登り、沢登りなど)



思い出に残るクラフト作り

## 県立静岡中央高校におけるコミュニケーションスキル講座 受講生募集

県立静岡中央高校通信制課程では、発達障害等のある高校生を対象に、コミュニケーションスキル講座を開催します。

■開講期間 11月～2月の日曜日(全9回)

■場所 静岡中央高校東部キャンパス(三島長陵高校内)

■内容 ソーシャルスキルトレーニング、福祉施設見学、職場体験ツアーなど。

■申込締切 10月15日(火)

■受講料 無料(教材費等は別途必要)

■問合せ 静岡中央高校東部キャンパス 担当 副校長 苫米地(とまべち) 055(928)5757

## 芸術祭2013

今年も高校生の写真展と同時開催!

### 写真展

静岡県のアマチュア写真家が応募した写真の入選作品を展示します。今年も、「平成24年度静岡県高校写真コンクール上位入賞等作品展」と同時開催します。

■会期 10月16日(水)～21日(月)9時～17時  
(初日は10時から。最終日は15時まで)

■会場 キラメッセぬまづ市民ギャラリー(沼津市大手町1-1-4)



写真展奨励賞「勇姿」高野千鶴子

### ワークショップも開催! 和楽器に親しんで

#### 邦楽演奏会

和楽器(琴・三味線・尺八など)の音色に癒されてみませんか。

■会期 10月25日(金) (開場12時30分 開演13時)

■会場 グランシップ中ホール・大地(静岡市駿河区池田79-4)

#### 邦楽(琴)ワークショップ

一緒に琴を演奏してみませんか。初心者大歓迎!

■日時 11月2日(土)14時～16時30分(定員30人)

■会場 あざれあ多目的実習室(静岡市駿河区馬淵1-7-1)

※いずれも入場無料、ワークショップのみ要申込み。

■問 文化政策課 054(221)2254

## 「有徳の人」に会いに行こう

其の伍

市町教育委員会事務局を訪問しています!

県教育委員会事務局では、静岡県教育振興基本計画の基本目標「『有徳の人』の育成」の更なる充実を目指し、各市町教育委員会事務局を訪問して、今年度末に策定を予定している第2期計画に盛り込む施策等について意見を伺っています。

9月末の時点で、全35市町のうち、26の市町を訪問しました。10月中には、残る9市町を訪問する予定です。

東西に広く、地形の変化にも富んだ静岡県では、地域ごとに創意ある教育施策が推進されるとともに、抱えている問題は多岐にわたっています。防災教育一つを取っても、「津波の襲来を想定した避難訓練の実施」「土砂災害による道路網の寸断への備え」「自主防災組織と連携した防災訓練の難しさ」等、それぞれの取組や課題が見られます。しかし、子どもや地域

住民の命を守るため、防災教育の在り方を見直し、避難所となる教育施設の充実を図ろうとする努力は、どの市町も同じです。また、各市町におけるいじめ対策マニュアルの策定・見直しや、地域の教育力を活用した通学合宿の実施など、県の施策を具現化した教育効果を上げる市町教育委員会事務局の取組に、「オールしずおか」としての心強さを感じます。まさに、「有徳の人」を育て、「有徳の市町教育委員会」であることを実感しています。

学校教育や社会教育の充実に向けた、多くの意見や要望もいただきました。今後の訪問を予定している市町からの意見等と合わせ、「仮」第2期教育振興基本計画に反映させていきたいと思っております。



訪問先での意見交換

### 【教育政策課】

### 【訂正】

9月20日発行の本紙120号1面、「社会自立を目指して!特別支援学校における職場実習の取組」において、特別支援学校高等部の生徒数に誤りがありました。(訂正箇所)1段目日本語10行目(誤)600人弱(正)1,900人弱

【国語の先生必見!「ことば」のおもしろさを再認識。現代詩のトップランナーが、今回のために創作した連詩を朗読・解説する貴重な機会です!】

GRANSHIP

## 「2013年しずおか連詩の会」

11/24(日) 14:00～ | グランシップ 11階 会議ホール・風  
全席自由 / 500円 ※事前申込制

参加詩人: 野村喜和夫、福岡健二、石田瑞穂、三角みづ紀、文月悠光 監修: 大岡信

今、「ことば」のチカラを大切にしている学校が増えています。グランシップでは14回目を迎える「しずおか連詩の会」を今年も開催。現代詩のトップランナー5人が、この日のために3日間かけて創作した連詩を発表、朗読します。詩人本人による解説も毎年大好評。学校教育に携わる先生方に「ことば」のおもしろさを、肌で感じていただきたい楽しいイベントです。

【お申込み・お問い合せ】グランシップ「しずおか連詩の会」係  
TEL.054-289-9000 FAX.054-203-5716 E-mail.info@granship.or.jp  
※FAX、E-mailの方は、住所・氏名・電話番号・参加人数を明記してください。

広告